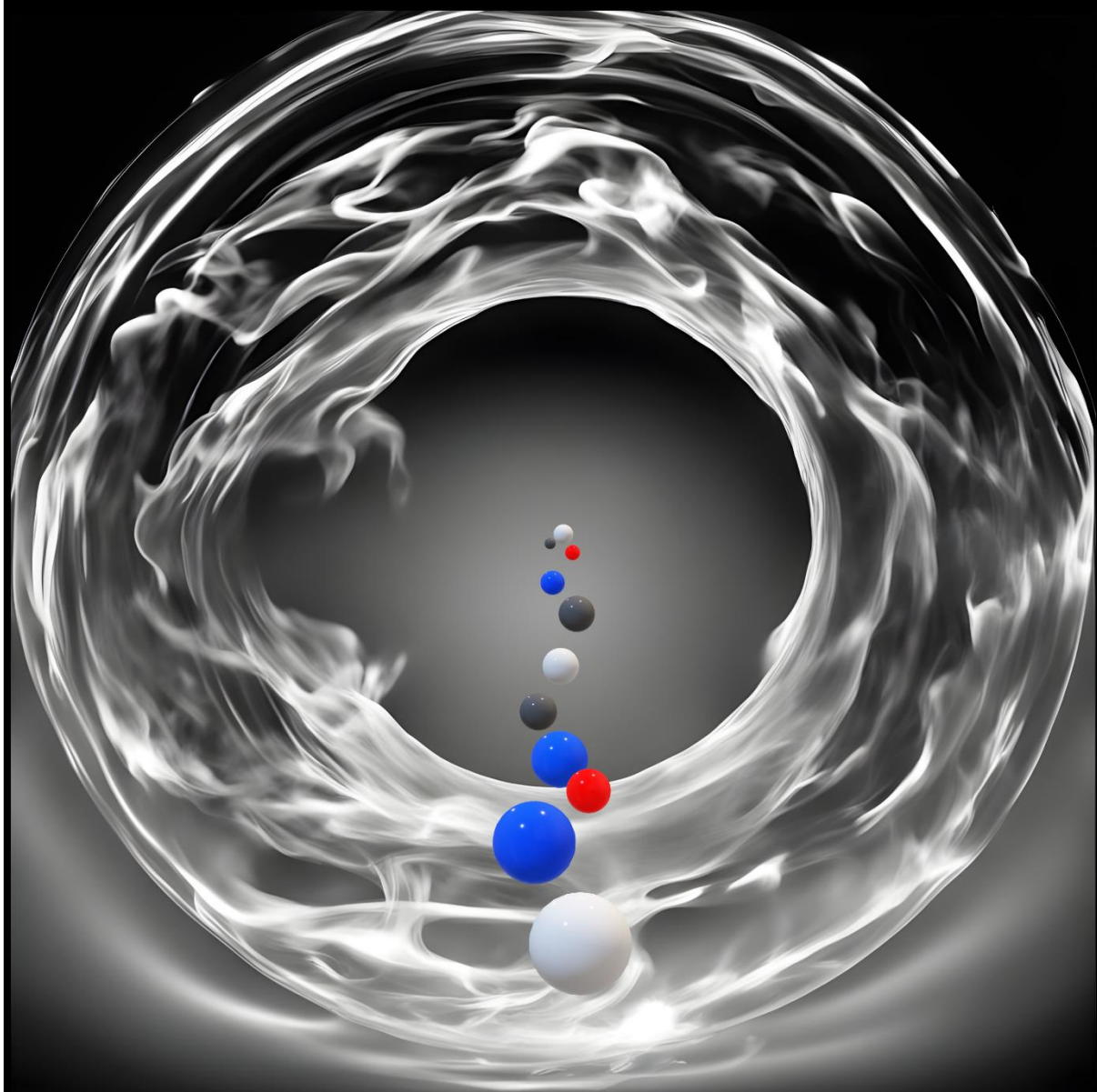


A



【作成者のコメント】

2024年はICP発光の最初の論文が出てから60周年になりますので、ICPのプラズマを通過するイオンをイメージしました。プラズマの炎と背景はAIに自動生成してもらいましたが、商用利用可能なモデル(stable diffusion, SDXL)を使用しています。

B

# ぶんせき①

Bunseki 2024

The Japan Society for Analytical Chemistry



日本分析化学会

<https://www.jsac.jp>

## 【作成者のコメント】

2024年12月号でぶんせき誌が通巻600号になると思います。50年にわたる継続発行を祝してデザインしました。

C

<div>5</div> <div>B</div> <div>10.81</div> <div>Boron</div>	<div>92</div> <div>U</div> <div>238.03</div> <div>Uranium</div>	<div>7</div> <div>N</div> <div>14.007</div> <div>Nitrogen</div>
<div>34</div> <div>Se</div> <div>78.971</div> <div>Selenium</div>	<div>19</div> <div>K</div> <div>39.098</div> <div>Potassium</div>	<div>53</div> <div>I</div> <div>126.90</div> <div>Iodine</div>

【作成者のコメント】

普段からよく見る元素周期表ウェブサイトであるWebElements<<https://www.webelements.com/>>の周期表の配色等を参考にして、複数の元素記号（B、U、N、Se、K、I）の組み合わせにより「BUNSEKI」を語呂合わせしたデザイン案を作成いたしました。昨年と同一の提案となります。

D

# ぶんせき①

2024 Bunseki

The Japan Society for Analytical Chemistry



日本分析化学会

<https://www.jsac.jp>

## 【作成者のコメント】

見えているものでも実体をとらえるのは難しい場合がある。池に写った 空も本物と間違えてしまうほどである。見えないものの実体をとらえる 分析技術は素晴らしい。ということで表紙としてみました。



E

# ぶんせき ⑩

Bunseki 2024  
The Japan Society for Analytical Chemistry



日本分析化学会

<https://www.jsac.jp/>

## 【作成者のコメント】

北極圏・グリーンランド上空の映像です。2023年は、まだウクライナとロシアによる戦争の影響で、日本の航空機はロシア上空を飛べないため、北極圏まで大回りして欧州まで飛行しています。2024年度は、この北極圏の景色を観ることなく通常運航に戻って欲しいという（分析の枠を超えて）平和の願いを込めました。